

第90期報告書

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

証券コード 6455

TOP MESSAGE ご挨拶

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たちモリタグループは、1907年に創業し、日本初のガソリン・エンジン付き消防ポンプを完成させて以来、消防技術の進化の道を切り拓き、火災や災害から人びとの生命、財産を守り続けてまいりました。現在、私たちが守る対象は、リサイクル施設や環境車両の開発など、地球の自然環境にも拡大しております。

「安心」を支える技術と絶えざる挑戦で
人と地球のいのちを守る

私たちは自らのパーパス（社会における存在理由）を、このように定義しています。

変化が激しく、また不確実性の高い時代だからこそ、私たちの存在理由や私たちが社会に提供できる価値を明確にし、変革への情熱を絶やさない人の力を結集することが、より一層重要であると考えております。

先進の技術力で世界に変わらない「安心」をお届けするため、私たち自身が生まれ変わり、持続可能な未来の創造に挑戦し続けてまいりますので、今後ともモリタグループに変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役会長兼CEO 中島 正博

代表取締役 社長執行役員 金岡 真一

第90期の概況

売上高

81,344 百万円

前期比
2.7%減



営業利益

5,081 百万円

前期比
37.4%減



経常利益

5,913 百万円

前期比
32.5%減



親会社株主に帰属する 当期純利益

3,996 百万円

前期比
25.3%減



当連結会計年度におけるわが国経済は、為替相場の大幅な変動、エネルギー価格や原材料価格の高騰、半導体の供給不足など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境に加え、当社グループにおきましては、消防車輛事業及び環境車輛事業においてシャシ（車台）の供給時期が不安定な中、生産の効率化に努めてまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、受注高は前連結会計年度比9,384百万円増加し、84,876百万円（12.4%増）、売

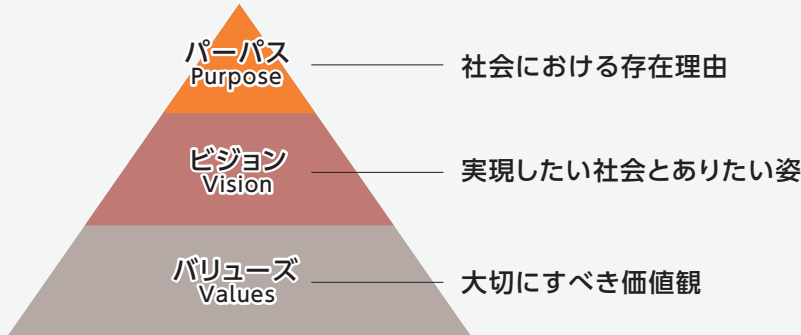
上高は前連結会計年度比2,258百万円減少し、81,344百万円（2.7%減）となりました。損益につきましては、営業利益は前連結会計年度比3,033百万円減少し、5,081百万円（37.4%減）、経常利益は前連結会計年度比2,848百万円減少し、5,913百万円（32.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度比1,353百万円減少し、3,996百万円（25.3%減）となりました。

モリタフィロソフィーの制定

M O R I T A P H I L O S O P H Y

当社は、2022年4月に「サステナビリティ委員会」を設立し、サステナビリティへの取組みを本格的にスタートさせました。その一環として、時代の流れと社会からの要請を踏まえてこれまでの企業理念を改定・再編し、2023年3月には、あらたに『モリタ フィロソフィー』として再構築いたしました。サステナビリティの時代における当社グループの存在理由をパーパス『「安心」を支える技術と絶えざる挑戦で、人と地球のいのちを守る』として掲げ、あるべき姿をビジョン『安全で住みよい豊かな社会へ貢献し、感謝され、愛される企業』と明確化し、その実現に向けて私たちが大切にすべき価値観を定義いたしました。

▼モリタフィロソフィー



MORITA NEWS モリタニュース

中期経営計画「基礎研究力・新商品開発力の強化」の実現に向けて

～研究開発拠点「モリタATIセンター」の稼働～

モリタグループは、「Morita Reborn 2025」の基本方針にも掲げている「基礎研究力・新商品開発力の強化」の実現に向け、分散していた研究開発拠点を大阪府八尾市に集約し、2023年7月からモリタATIセンター（敷地15,674㎡）が本稼働いたします。

モリタATIセンターは総合防災ソリューションを実現するための新研究拠点として、「A-Field」、「T-Tower」、「I-Cube」の3棟から成り、「A-Field」にある総合実験場（25m×32m×高さ18m）は、西日本最大級の燃焼実験場、集塵機・排水処理装置を備え、また放水通路（30m×7m×高さ15m）と合わせて最長55mの無風環境下での水・泡放射性状評価の実施が可能です。「T-Tower」はマンション11階建て相当（高さ33m）の訓練棟で、様々な状況に対応できる消火・救助戦術の立案・実証や、新製品の開発並びに操作訓練などに活用します。また、「I-Cube」では、オープンイノベーション／コミュニケーションを誘発するワークスペースとして、快適な空間かつ最新鋭の技術で「人と地球のいのちを守る研究開発」を実現し、産学連携や他企業との協業をも実現する研究施設を目指します。さらに、屋上には延べ1,200㎡の太陽光発電パネルを設置し費用対効果を見据えた省エネ技術と自然エネルギーの利用を可能としています。

モリタグループは、『「安心」を支える技術と絶えざる挑戦で、人と地球のいのちを守る』というパーパスのもと、先進の技術力で世界に変わらない「安心」をお届けできる企業を目指します。

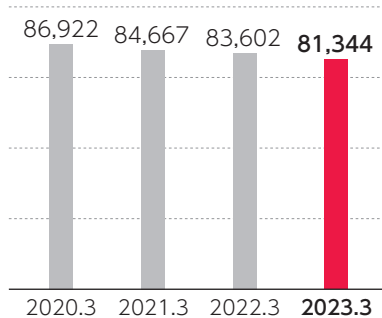
▼モリタATIセンター



財務ハイライト(連結)

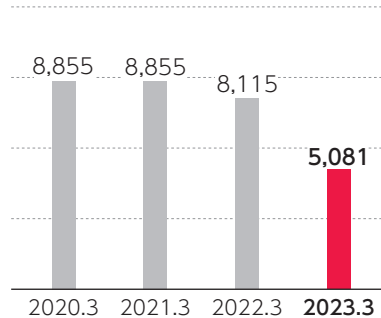
売上高

単位: 百万円



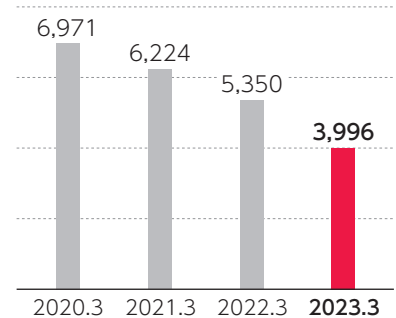
営業利益

単位: 百万円



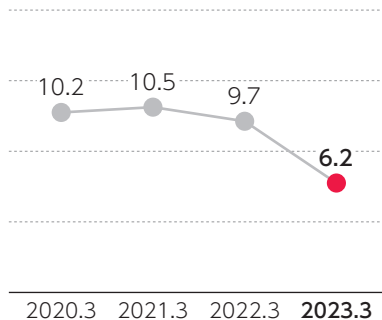
親会社株主に帰属する当期純利益

単位: 百万円



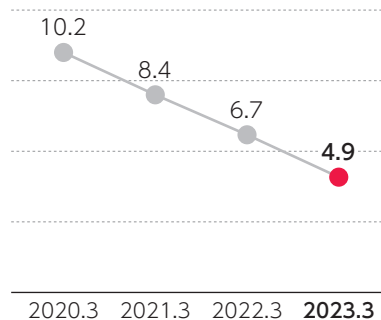
売上高営業利益率

単位: %



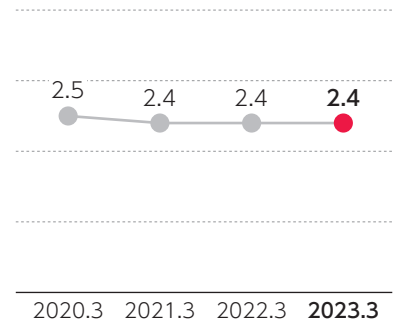
自己資本当期純利益率(ROE)

単位: %



株主資本配当率(DOE)

単位: %



セグメント別概況

防災事業

売上高

20,829百万円

前期比

7.2%増



セグメント利益

2,023百万円

前期比

54.8%増



消火器の需要の増加に加え、
消火設備の売上が堅調に推
移し、増収増益。

消防車両事業

売上高

44,869百万円

前期比

8.7%減



セグメント利益

1,771百万円

前期比

67.6%減



国内外とも受注は堅調で
あるものの、シャシ(車台)
の供給遅延による生産へ
の影響や原材料価格の高
騰等により、減収減益。

環境車両事業

売上高

9,758百万円

前期比

1.3%減



セグメント利益

586百万円

前期比

18.1%減



受注は堅調であるものの、シャ
シ(車台)の供給遅延により生
産が低調に推移したことから、
減収減益。

産業機械事業

売上高

5,887百万円

前期比

14.2%増



セグメント利益

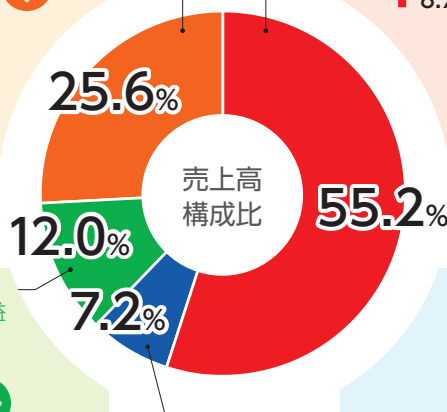
702百万円

前期比

13.2%増



製品の売上が堅調に
推移し、増収増益。



会社・株式情報

商号	株式会社モリタホールディングス
創業	1907(明治40)年4月23日
設立	1932(昭和7)年7月23日
資本金	47億4,612万円
大阪本社	大阪市中央区道修町3丁目6番1号
東京本社	東京都港区芝5丁目36番7号
事業内容	グループ各社の事業活動の支配・管理 及び管理間接業務の受託

役員

代表取締役会長兼CEO	中島正博
代表取締役	金岡真一
取締役	森本邦夫
取締役	村井信也
取締役	磯田光男
取締役	川西孝雄
取締役	北條正樹
取締役	加藤雅義
取締役	福西宏之
常勤監査役	浅田栄治
監査役	太田将
監査役	西村捷三
監査役	金子麻理
社長執行役員	金岡真一
常務執行役員	森本邦夫
常務執行役員	村井信也
常務執行役員	伊藤満

株式のご案内

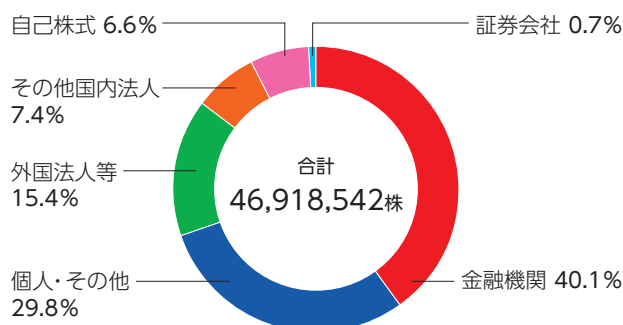
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	電子公告とし、当社のホームページに掲載する。 https://www.morita119.com/ir/stock/kohkoku.html
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (土日休日を除く)
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
上場証券取引所	東京証券取引所
1単元の株式数	100株

主要グループ会社

株式会社モリタ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防 車両並びに特殊車両の開発・製造・販売
モリタ宮田工業株式会社	東京都江東区有明3丁目5番7号 消火器を中心とした消火関連機器、消火 装置、その他各種防災機器・設備の開 発・製造・販売
株式会社モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 リサイクル処理施設、その他各種ごみ処理 施設の設計施工並びに各種大型油圧機械の 開発・製造・販売
株式会社モリタエコノス	兵庫県三田市テクノパーク28番地 衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・ 製造・販売
株式会社モリタテクノス	兵庫県三田市テクノパーク32番地 消防車両・救助用資機材等のアフターサー ビス・メンテナンス並びに電子応用機械器 具・情報処理機械器具の開発・製造・販売
BRONTO SKYLIFT OY AB	フィンランド共和国 タンペレ市 屈折はしご付消防車及び高所作業車の開 発・製造・販売

所有者別株式数分布状況

2023年3月31日現在



大株主（上位10名）

2023年3月31日現在

株主名	持株数(千株)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,619
モリタ取引先持株会	2,282
第一生命保険株式会社	2,123
株式会社みずほ銀行	2,087
株式会社三菱UFJ銀行	2,048
株式会社三井住友銀行	2,007
三井住友信託銀行株式会社	1,828
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,792
エア・ウォーター株式会社	1,730
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE THE HIGHCLERE INTERNATIONAL INVESTORS SMALLER COMPANIES FUND	1,151

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式3,111千株を保有しております。

人と地球のいのちを守る



【大阪本社】
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号
☎06-6208-1907

【東京本社】
〒108-0014 東京都港区芝5丁目36番7号
☎03-6400-3480

<https://www.morita119.com>



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。